

工業蒲田

所 目 番 地 9
 丁 1 組 合
 1 2 同 行 委 員 會
 8 協 行 人 員 職 所
 7 業 及 部 憲 所 2
 田 (732) 工 紙 編 刷 新 輝
 區 編 紙 石 印 東 榮
 大 話 田 編 石 印 東 榮
 都 電 蒲 機 株 式 會 社
 東 京 都 江 東 区 橋 本 2 丁 9 番 地 1 組 合 員 職 所 刷 所

新春放談あれこれ

おしんに始まり おしんで終る

司会者 明けましておめでとう
 新嘗恒例の放談会ということで
 お集りいただいたのですが、新春
 早々で、なにかと多用の中にも
 拘りませすご出席いただき、あり
 がとうございます、厚く御礼申上
 げます。

放談会に入ります前に、永年に
 亘って当組合のために、また、大
 田区の工業界のために献身的な奉
 をいただいた大長老(永森忠)と思
 います。

幸氏 大谷勇蔵氏が、昨年の暮
 に相対して他界され、余りにも身
 近なためにわれわれは非常にショ
 ックだったのですが、お二方に心
 から感謝申し上げるとともに、ご冥
 福をお祈りしたいと思います。

明けましておめでとうござい
 ます。
 組合員並びに本組合員の皆
 様にはいよいよ二階勝にて昭和
 五十九年の新春をお迎えになら
 れた御こと衷心より慶賀申し
 上げます。

二案内のように、昨年の後半は
 景況も緩やかながらも浮揚しつつ
 あると言われましたが、十月には
 企業倒産が一、七八五件もあり、
 昨年は史上最高の倒産件数にな
 ったのではないかと懸念しますが、ま
 だまだわれわれ中小企業にとつて
 はきびしい経済情勢が続いており
 ます。

また、政治の貧困がわれわれの
 ような企業にとっては一番大きな
 問題ではなかったかと思ひます
 し、それに、世界的な貿易摩擦も
 あるなど、いろいろな悪材料が山
 積して、内憂外患、まことに重大
 な時局と言えざるのではないかと懸
 念いたします。

「新春放談あれこれ」
 「新春賀詞交換会」
 「掲示板」
 「節税教室」
 「四月生募集」
 「基礎控除変更」
 「組合員だより」
 「図書室だより」
 「ことばの泉」
 「業務報告」
 「贈賀新年」
 役員一同
 組合員有志

「新春賀詞交換会」
 「掲示板」
 「節税教室」
 「四月生募集」
 「基礎控除変更」
 「組合員だより」
 「図書室だより」
 「ことばの泉」
 「業務報告」
 「贈賀新年」
 役員一同
 組合員有志

年頭ご挨拶



蒲田工業協同組合
 理事長 千葉博

さて、昨年の我が国経済は、世
 界的な不況の深刻化に伴う貿易
 摩擦の中にも、夏頃よりの輸出
 拡大基調に伴い景気は回復方向
 に転じ、特に旧秋大蔵省の三年
 半ぶりに景気は急ヒッチに軌道
 に乗りつつあるとの発表につづ
 き通産省も不況の底離れを表明

ンボはまだ遅いものの、三ヶ月
 前に比べると景気は目に見えて
 よくなっている、従つてあとは
 個人消費の持ち直しのポイント
 として景気の本格的回復が間近
 いたの判断を示しております。
 右のように三年ぶりに待望久
 何事も強きは榮え、弱きはび

てきたのですが、昨年は売上総額
 が二割くらい落ち込みました。売
 上りが二割落ちますと、やはり赤字
 になります。
 さて、今年には、昨年の反省を
 じつくり検討し、先輩たちがよく
 言われている経営の原理原則的な
 ものをしっかりとやり、いろいろな
 情報に惑わされずに、自分の企業
 種と言われているのですが、それ
 を敢えて事業化され、徹底的な設
 備の合理化と近代化とで次第に独
 占化されていくというところで、
 企業が持続・繁栄していくには原
 則にどの企業も同じではないかと
 思います。

又日銀も現在の景況がよいと見
 る企業が輸出関連産業だけでは
 なく、化学、紙パルプ等の素材
 産業にも多くなり、ここに来て
 景気は製造業を中心に回復スビ
 ードを増していることを指摘す
 る一方、個人消費の立ち直りのテ

しかした先行き明るい希望と期
 待の新年を迎えましたが、中小
 企業には未だに内外の悪材料が
 多く、特に国際経済下、中後進
 国の追い上げ、熾烈な業種間の
 競争による企業格差の増大は必
 然であります。尚長期不況に喘

知と総力を結集してきめ細かく
 対処、共存共栄の実を挙げること
 が協組本来の姿と存じます。
 尚組合員みなさまのニーズ
 により適宜に各種の事業を行な
 っておりますので、各位には組
 合本来の在り方を再確認され、
 諸事業にこの上でもご理解をい
 ただき精々ご活用下さいませよ
 うお願い申し上げます。

また、旧年中は組合の運営に格
 別のご支援とご奉仕を賜り、お
 蔭様で不況の中にも新会館の落
 成と共に、順調な歩みのうちに
 感年することができましたこと
 を心から厚く御礼申し上げます。

つ、時流に即応する合理化効率
 化を「為せば成る」の精神で先
 取りする勇気と決断、徹底的精
 進何よりも大切であります。
 又今日こそ平素の縁を大切に
 コミュニケーションに努め、同志
 愛を基盤として、和と団結、英

「我愛・我慢で、我慢すれば……」
 ……というのではなかつたかと
 思います。
 ……ところが、大企業は中間決算を
 見てもわかるように、結構利益が
 出ているのです。大企業は自分の
 ところの利益確保のために、下請
 を泣かせながら太っているとした
 言いがかりがありません。
 これは、経済の仕組みで仕方が
 ないと言つてしまえばそれまでで
 すが、下請の我慢も限度にきてい
 るのではないかと思います。
 ……したがって、今年是我慢・我慢
 ではすまされない年になるのでは

(前頁より)

この組合の場合、土地柄ということもあって、昔からお互に仕事の交流が日常茶飯事のように行われているので、それだけでも大きなメリットがあるのはわかっているのですが、これから入ってこられる若い人たちに、それらのことを言ってもなかなかわかって貰えないのです。

と言つては、若い人たちにアピールする何か欠けているのではないかと思つて、そのへんの活性化を皆で考えていたのだと思います。

司会者 確かに、組合としてお説のような方向づけが必要ではないかと思つて、初代、二代目くらいまでならまだいいですが、三代目くらいになると、組合との縁がだんだん薄くなっていくという

D この組合の在り方について皆さんがどういうふうにお考えになつておられるか知りませんが、皆さんが口で言うほど簡単にうまくい事業があるわけではないので、

私は、今まで先輩たちがやつてこられたことは、間違っていないと思つています。

ただ、今までにいろいろ不事故が起きるたびに守りの姿勢を固めてきていますが、危険を冒さないのが組合の在り方なのか、或る程度の危険を冒しても活性化すべきなのか、一度じっくり話し合う必要があるのではないかと思つていま

例えは、余りにも安全・安全といつことになると、金融事業にしても、担保力のある企業は組合金に頼らなくても金利の安い市中

新春賀詞交換会

蒲田工業協同組合 木鶏会

明けましておめでとつござい
ます。

皆さま方には新春早々のこと
を左記により開催することに
なりました。

皆さま方には新春早々のこと
とて、公私ともご多用のこと
拜察申し上げますが、何卒万障
お繰り合わせのうえ出席賜り
ますようお願い申し上げます。

組合員並びに木鶏会員の皆
さま方には、ますますご健勝に
て昭和五十九年の新春をお迎え
になられたこと拜察し、衷心よ
りお慶び申し上げます。

旧年中は組合並びに木鶏会の
運営や事業に格別のご支援とご
協力を賜りましたことを、この
紙上を借りて心から厚く御礼申
上げますとともに、本年も倍
旧のご指導とご支援を賜ります
ようお願い申し上げます。

さて、恒例の新春賀詞交換会

日時 昭和五十九年一月九日
(月) 午後六時より

場所 蒲田工業会館(大田区
蒲田一―二九―八、電
話七三二―七八二―
三)

会費 七、〇〇〇円(当日)
持参下さい

銀行でということになって、金融
事業の利用者が減ってくるのは当
り前です。

しかし一方では、市中銀行を利
用しにくい組合員もまだ大い
なわけですから、それらの組合員
力になってやらなければ、いすれ
は組合から離れて行ってしまうの
ではないかと思つています。

だから私は、組合設立を必要と
する。

B いつもなら、大倉常任理事
が今年のわが国の運勢を言われる
のですが、残念ながら、いまま
た

組合の姿はどうあるべきなのか、
どうい活動によってプラスにな
っていくのか、願点に立ち戻つて
考えてみる時期に来ているのでは
ないかと思つています。

司会者 ありがとうございます

くなくていくのではないかと、逆に
悪くなるのは、金と水の関係だと
いつてです。

火というのはエネルギー関係
の他で、火と木の関係の仕事は伸
びるだろうが、金融機関に商社関
係、鉄鋼関係に金属加工業、それ
に水産業は逆に余り伸びないだろ
うといつています。当るも八卦、
当らぬも八卦でしょうが、...

それから、大きく地球全体で見
たときは、赤道を中心として今よ
りももっと大きな争いが出てくる
のではないかと、今でさえ、内戦を
含めると世界で七〇ヶ国くらいが
ゴチャゴチャやつているそうです
が、それがそんなものは納まら
なくなつて、もっと大きな危機が
どこかで出てくる可能性があるとい
うことでした。

司会者 ありがとうございます

またまた皆さんのお話をお聞き
したいと思つていたので、制
限時間も一寸過ぎておりますの
で、このへんで放談会を打ち切り
たいと思つています。

本日は新春早々に、公私とも
多用の中にも拘りませす、長時間
に亘り貴重なご意見を賜り、ご協
力ありがとうございます。

今年も非常に多難な年かと思わ
れますが、ご健勝で、ますますの
ご発展されますよう心からお祈り
申し上げます。



した基本的な姿勢に立ち戻つて考
えてみる必要があると思つていま
す。

組合員の皆さんから預
けられている財産なので非常に慎重
にやらざるを得ないのですが、慎重
にやることによって消極的になつ
てはいけないのではないかと、この
へんをじっくり話合つてみる必要
があるのではないかと思つていま
す。

B Dさんが言われたように、
弱いなすみだけでも、経済の
動向はやや上向きな状態で、その
中でも、火と木に関する仕事はよ

の節税教室は毎回非常に好評を博
しているが、本年度第二回の節税
教室が左記により開催されること
になった。

記
日時 昭和五十九年一月二十四
日(火) 午後、時三〇分
〜四時三〇分

場所 東京都中小企業会館九階
講堂(中央区銀座二ノ一
〇ノ一八、銀座松屋裏)

講師 公認会計士・税理士
松沢 修 氏

受講料 三、五〇〇円(資料代を
含む)。

定員 一〇〇名(先着順受付)。

申込締切 昭和五十九年一月十三日
(金)。会場の都合で定
員になり次第締切られま
るので、早目にお申込み
下さい。

申込方法 受講料を添えて当組合に
お申込み下さい。尚、申
込後、受講を取消す場合
は、一月二十日(金)ま
りに通知がなければ受講
料の半額、当日の場合は
金額返還されません。

四月生募集
都立大田高等職業訓練校では、
左記により四月生を募集してい
る。

新移転先
大田区南久が原一―二―一
電話(七五五)二八二(代)。

日産電機株式会社(大田区西糀
谷三―三―五)代表者青尾繁氏
では、去る九月十六日左記へ移転
されましたのでお知らせしま
す。

新移転先
大田区北糀谷一―九―一
電話七四三局〇二―
新 社 屋 竣 工

株式会社清川製作所(大田区東
糀谷四―一―二)代表者川瀬純
氏では、かねてより建築中の
新社屋が竣工し、去る十二月七日
に竣工式並びに披露をされまし
た。

代表者
永森忠幸氏 永森電機株式会社
(大田区大森南一―二―四)代
表者永森忠幸氏(本組合常任理
事)は、永らくご病氣療養中のご
回復が、去る十一月十六日
五では、代表にご逝去されまし
た。ここに謹んでお知らせしま
す。

大谷勇蔵氏 株式会社大谷造機
所(大田区北糀谷二―五―一〇)
代表者大谷勇蔵氏(本組合常任理
事)は、去る十一月二十二日、急逝
されました。ここに謹んでお知
らせ申し上げますとともに、氏のご
冥福を心からお祈り申し上げます。

新代表者 吉田啓一氏
移 転
日本オートマチックマシン株式
会社(大田区平和島六―一―一)
代表者水野正次氏では、左記に
移転されましたのでお知らせし
ます。

新移転先
大田区下丸子三―二八―四
電話七五五六局 四七二
昭和精密工業株式会社(大田区
千鳥町二―二―一四)代表者伊藤
宗行氏では、本社を左記に移転
されましたのでお知らせしま
す。

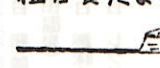
掲示板

節税教室

東京都中小企業経営者協会主催

新移転先
大田区下丸子三―二八―四
電話七五五六局 四七二
昭和精密工業株式会社(大田区
千鳥町二―二―一四)代表者伊藤
宗行氏では、本社を左記に移転
されましたのでお知らせしま
す。

組合員だより



代表者
永森忠幸氏 永森電機株式会社
(大田区大森南一―二―四)代
表者永森忠幸氏(本組合常任理
事)は、永らくご病氣療養中のご
回復が、去る十一月十六日
五では、代表にご逝去されまし
た。ここに謹んでお知らせしま
す。

大谷勇蔵氏 株式会社大谷造機
所(大田区北糀谷二―五―一〇)
代表者大谷勇蔵氏(本組合常任理
事)は、去る十一月二十二日、急逝
されました。ここに謹んでお知
らせ申し上げますとともに、氏のご
冥福を心からお祈り申し上げます。

新移転先
大田区下丸子三―二八―四
電話七五五六局 四七二
昭和精密工業株式会社(大田区
千鳥町二―二―一四)代表者伊藤
宗行氏では、本社を左記に移転
されましたのでお知らせしま
す。

新移転先
大田区下丸子三―二八―四
電話七五五六局 四七二
昭和精密工業株式会社(大田区
千鳥町二―二―一四)代表者伊藤
宗行氏では、本社を左記に移転
されましたのでお知らせしま
す。



左記の図書が新しく入りま...
事務所の書棚にありますので自
由にご覧下さい。
貸出しもしています。

記

- 「中小企業の相続税は」なる
(実現した事業承継税制)
富岡 幸雄 著
「中小企業施策のあらまし」(国
と東京都の施策 五十八年版)
東京都中央会編
「モデル案件別算給・配分」
労務行政研究所編
「企業年金導入の手引」(退職金
制度改善ガイドブック)
労働局労働基準局編
「東京都における中小企業の労働
事情」(昭和五十八年度)
東京都中央会編

管理職の賃金水準と諸検査を
みる。
五十八年海外出張旅費(主要
三〇〇社の最新実態)。
八三年春闘賃上げ交渉結果総
まとめ。
退職金・年金制度の最近の動
向と支給実態。
五十八年職種別民間給与実態
調査結果の概要。
五十八年度独身男子と世帯人
員別標準生計費。
私傷病欠勤・休職制度の取り
扱い実態。

業務報告

一、五〇〇、〇〇〇円
七月共同購入業務取扱高
九、五〇一、二八八円
八月共同購入業務取扱高
四、四三二、七二七円
九月共同購入業務取扱高
七、六七八、二四四円
十月共同購入業務取扱高
一四、八七〇、六五〇円
十一月共同購入業務取扱高
六、四四三、三三〇円
七月八日 千葉理事長祝賀記念謝
恩パーティ。
七月十一日 巡回健康診断実施
七月十二日 巡回健康診断実施
七月十三日 巡回健康診断実施
七月十五日 講演会(木鶏会)
七月十八日 講演会(木鶏会)
七月十九日 青年部経営サロン
(木鶏会)
七月二十二日 機関紙「工業蒲田」
速報版発行
主な記事
昭和五十八年度東京都中小企業
設備貸与制度。
「NC自動プログラミング」講
習会。
大田高等職業訓練校十月生募集
小規模企業のための産業用ロボ
ット講座。
八月三日 定例経営サロン(木鶏
会)
八月十七日 工業技術指導講習会
「品質管理」
八月十八日 工業技術指導講習会
「品質管理」
八月十九日 工業技術指導講習会
「品質管理」
八月二十二日 小規模企業のため
の産業用ロボット講座
八月二十二日 小規模企業のため
の産業用ロボット講座
八月二十五日 小規模企業のため
の産業用ロボット講座
八月二十五日 機関紙「工業蒲田」
速報版発行
主な記事
昭和五十八年度中小企業技術者
長期講習会「これからの材料と
加工技術」。
短期技術講習会「公害と対策」。

ことばの泉



お正月の「おせち料理」とい
えば、煮しめ、黒豆、昆布巻、
きんとん、なます、ごまめ、蒲
ました。

おせち

で、節句のお供え物という意味
なのです。

餅、酢蛸、数の子(近年は高く
て庶民の口には入りませんが)
などが普通ですが、最近ではハ
ム、ソーセージ、チャーシュー
(じょう)の節句、二月、端午

したがって、「おせち」はも
とも五節句、即ち、入日(じ
んじつ)の節句、正月、上巳
(じょう)の節句、三月、端午

だから、正月の七草がゆ、三月
三日の草もち、五月五日のチマ
キなどは、いずれも「おせち料
理」だったわけです。
これが現在のようになり、お正月
の料理に限って言うようになっ
ています。

たのは、節句の中でもとくに年
の初めを重んじるようになった
からだと言われています。
昔の料理の本には、「おせち」
は「ゴボウ、イモ、ニンジン、
コンニャク、ダイコン、焼豆腐
など、精進のものを中心として作
った煮しめが普通だったと書か
れています。

おせち

たのは、節句の中でもとくに年
の初めを重んじるようになった
からだと言われています。
昔の料理の本には、「おせち」
は「ゴボウ、イモ、ニンジン、
コンニャク、ダイコン、焼豆腐
など、精進のものを中心として作
った煮しめが普通だったと書か
れています。

「働く人のくらしを守る法律セ
ミナー」
十月五日 定例経営サロン(木鶏
会)
十月二十八日 技術指導講習会
(「NC・MC機械の効果的利用
法」)
十月三十一日 技術指導講習会
(「NC・MC機械の効果的利用
法」)
十一月一日 優良組合として通産
大臣より表彰を受く。
十一月一日 技術指導講習会(N
C・MC機械の効果的利用法)
十一月二日 定例経営サロン(木
鶏会)
主な話題
印紙税調査について
経営サロン出席率について
従業員持株について
十一月十一日 常任理事会
1、報告事項
イ、九月末試算報告
九月末試算表について事務
局より説明、全員諒承した。
ロ、全国大会の件
当組合より、千葉理事長以
下五名出席していただくこと
になったことを報告、全員諒
承。
ハ、通産大臣より表彰の件
十一月一日、優良組合とし
て通産大臣より表彰されたこ
とを報告。
ニ、年末運転資金融資評定の件
三、商工中金より増資要請の件
一〇〇万円増資することに決
定。
四、永年勤続従業員表彰の件
被表彰者十人以上二名、五
年以上五七名を決定。
五、放談会の件
左のとおり決定。
日時十一月二十九日(火)
午後四時より。場所しとぎわ
尚、放談会終了後、組合役員と
(次頁へ)

謹んで新年のお慶びを申し上げます

蒲田工業協同組合員有志

(五十音順)

機械器具製造業

- 株式会社 旭川製作所
- 尼寺空圧工業株式会社
- 岩佐工機株式会社
- 合資会社 大津鉄工所
- 株式会社 弘機商会
- 坂口精密工業株式会社
- 秀和工業株式会社
- 昭和精密工業株式会社
- 太産工業株式会社
- 株式会社 竹中機械製作所
- 炭研精工株式会社
- ティ・ヴィ・バルブ株式会社
- 東 亜 株 式 会 社
- 株式会社 藤栄製作所
- 株式会社 東京精密器具製作所
- 東 洋 精 密 株 式 会 社
- 東和タイプライター株式会社

- 株式会社 鳥海製作所
- 株式会社 中谷機械製作所
- 長坂精機株式会社
- 日本ギアエン無段変速機株式会社
- 有限会社 早崎製作所
- 深尾精機株式会社
- 株式会社 藤原製作所
- 合資会社 古川機械製作所
- 株式会社 文化精工
- 有限会社 蓮沼機械製作所
- 有限会社 松原製作所
- 株式会社 山田精機製作所
- 電気機械器具製造業
- 出雲電機株式会社
- 株式会社 小林電機製作所
- 株式会社 東電舎
- トーホー電子工業株式会社
- 株式会社 中山電機工芸社

永森電機株式会社

輸送用機械器具製造業

- 荏原工業株式会社
- 株式会社 大谷造機所
- 西野機械工業株式会社
- 株式会社 日伸製作所
- 株式会社 ユタカ製作所
- 金属製品製造業
- 江崎工業株式会社
- 佐々木発条株式会社
- 同和発条株式会社
- 株式会社 羽田発条製作所
- 株式会社 羽田パイプ製造所
- 鍛 造 業
- 株式会社 愛国鍛工所
- 有限会社 武藤鉄工所
- プレス・鋅金業
- 株式会社 赤井製作所
- 株式会社 明石金属製作所
- 株式会社 内田製作所
- 岡田鋅金株式会社
- 株式会社 清川製作所

株式会社 清水鉄工所

- 株式会社 滝口製作所
- 株式会社 東亜製作所
- 日本中空鋼株式会社
- 株式会社 蛭田電機製作所
- 製 罐 業
- 株式会社 新井久四郎鉄工所
- 鍍 金 業
- エビナ電化工業株式会社
- 鑄物製造業
- 有限会社 京浜鑄造所
- 杉谷金属工業株式会社
- そ の 他
- 有限会社 青木製作所
- 河原テント株式会社
- 株式会社 気球製作所
- 有限会社 桑島印刷所
- 株式会社 耕文堂
- 株式会社 東京包装食品株式会社
- 株式会社 日章機械
- 宮永化学工業株式会社